

ISOGEN/ISOGEN-LS 正誤表 ver.2

誤	正
<p>Page 2 24 行目</p> <p><u>aqueous phase</u></p> <p>← 0.5ml isopropanol</p> <p>↓ store for 5~10min. at room temperature</p>	<p><u>aqueous phase</u></p> <p>← 0.5ml isopropanol (or 0.8 volume isopropanol) *5)</p> <p>↓ store for 5~10min. at room temperature</p>
<p>Page 3 *4)</p> <p>イソアミルアルコール等の添加物のないクロロホルムを用いる。</p>	<p>イソアミルアルコールの添加されたクロロホルムは使用できない。</p>
<p>Page 3 *5)</p> <p>ホモジネートは、遠心分離により下層の有機相、中間相及び上層の水相に分かれる。RNA は水相に含まれるが、この水相には DNA やタンパク質はほとんど含まれない。この時の水相の体積は、加えた ISOGEN の体積の約 60%である。</p>	<p>ホモジネートは、遠心分離により下層の有機相、中間層及び上層の水相に分かれる。RNA は水相に含まれるが、この水相には DNA やタンパク質はほとんど含まれない。この時の水相の体積は、加えた ISOGEN の体積の約 60%である。</p> <p>もし 60%より少ない場合には、この後の操作で添加する isopropanol 量は分取した水相の体積に対して 0.8 倍容を添加する。30%以下の場合、組織量を減らすなどして、再度抽出し直すことを推奨する。</p>
<p>Page 3 *12)</p> <p>…。溶解する滅菌蒸留水、TE (pH8.0)、0.5%SDS や水は、予めジエチルカーボネート (DEPC) 処理によって RNase フリーにしておく。</p>	<p>…。溶解する蒸留水、0.5%SDS は、予めジエチルカーボネート (DEPC) 処理によって RNase フリーにしておくか、RNase フリーグレードの市販品を用いること。また、TE (pH8.0) を使用する場合は、RNase フリーグレードの市販品を用いること (TE に含まれる Tris-HCl は、DEPC 処理にて分解してしまう為)。</p>
<p>Page 4 25 行目</p> <p><u>aqueous phase</u></p> <p>← 3 μl Ethachinmate</p> <p>← 0.8ml isopropanol</p> <p>↓ store for 30min. ~ over night at 4°C</p>	<p><u>aqueous phase</u></p> <p>← 3 μl Ethachinmate</p> <p>← 0.8 volume isopropanol</p> <p>↓ store for 30min. ~ over night at 4°C</p>